

ボランティアセンターだより

209号
2026年4月

『ほしのこぴかり』～子どもたちへ届けたい想い～

地域の方から「自費制作した絵本を子どもたちに届けたい」との思いが寄せられ、南あわじ市内の保育園やこども園、放課後等デイサービスへ絵本をお届けしました。



寄贈された絵本『ほしのこぴかり』



絵を担当された奈木さんと、物語を担当された心音さんが心を込めて制作した一冊です。この物語は音楽にもなっており、物語の言葉がそのまま歌詞となっています。YouTubeで楽曲を聞くことができ、絵本とともに物語の世界を楽しむことができます。奈木さんが保育園に訪問して園児たちへ直接絵本を手渡し、子どもたちと触れ合いながら想いを届けるあたたかな時間となりました。

これからも地域のみなさんの想いを大切にしながら、人と人のつながりが広がる取り組みを進めていきたいと思えます。



手作りのぬくもいを地域へ

「手作りが好き」という思いから集まった仲間たちで活動している玉結びの会。令和7年度もさまざまな活動に参加されました。公民館祭りでのワークショップや福祉まつりでの販売、手作りが苦手な保護者の方に向けた上履き入れや給食袋の作成、ジェルキャンドルづくり、アミアミ事業所さんとのコラボ商品の開発、施設や病院へのひざ掛けや認知症マフなどの寄附、施設への編み物教室、アフタースクールでの「まちの先生」など、活動は多岐にわたります。

メンバーのみなさんは、それぞれの得意なことを活かしながら楽しく活動されています。月一回の会のある日を楽しみにしている方も多く、家族から「生き生きしているね」と声をかけられることもあるそうです。好きなことを通して、誰かの役に立つ。玉結びの会の手作りのぬくもりが、地域へと広がっています。



認知症マフをご存じですか？



「認知症マフ」は、認知症の方が手を入れて触れることができるように作られた筒状の編み物です。毛糸のやさしい手触りや、ボタン・リボンなどの飾りに触れて楽しめるよう工夫されています。手を動かすことで気持ちが落ち着き、不安やそわそわ感の軽減につながると言われています。

今回制作したマフを、地域の高齢者施設へお届けしました。施設の職員の方からは「手に触れていると落ち着く方もおられ、あたたかい気持ちになります」と喜びの声も聞かれました。



【発行】南あわじ市社会福祉協議会

〒656-0122 南あわじ市広田広田 1064

【電話】44-3007 【FAX】44-3037

【メール】info@minamiawaji-shakyo.or.jp



@MINAMIWAJJI_SHAKYO



@FLAT_HOUMU



南あわじ市社会福祉協議会 生活支援コーディネーターだより

登録サロン数
93か所
(R8.3月現在)

地域福祉フォーラム～ひろがる居場所 つながる笑顔～



3月7日、湊地区公民館にて地域福祉フォーラムを開催し、「居場所づくり」をテーマに地域で進む多様な取り組みを紹介しました。会場には住民や関係者が多数参加し、地域の魅力や課題を共有しながら、これからの地域づくりについて考える時間となりました。

倭文地区からは、『永田邸を守る会』代表の中本美和氏が登壇。有形文化財「永田邸」を活用した「防災祭ウィーク」を紹介し、「文化財を守る活動が、住民が気軽に立ち寄り学び合う居場所にもつながっている」と話しました。初めて永田邸の取り組みを知った参加者からは、「地域にこんな場所があったとは驚き。手伝いながら関わってみたい」という声が寄せられました。

阿万吹上の自治会長の鈴木清幸氏と田畑尊靖氏が、人口減少や高齢化の中でITを活用し、自治会出資の会社を設立するなど、地域資源をソーシャルビジネスとして活かす実践を紹介。「地域全体を一つの大きな居場所と考え、誰もが関わり続けられる地域にしたい」と語りました。参加者からは「自治会が会社をつくる発想に驚いた」「若い世代が地域に関わるきっかけになりそう」と、取り組みへの期待が広がっていました。



社協では、今後も地域で主体的に活動する実践を発信し、住民同士が学び合い支え合う場づくりを続けていきます。



社協が行く！



らんらんバスでお出かけしよう♪



阿万地域づくり協議会（やさしい阿万づくり協会）主催の「らんらんバス試乗会」に参加しました。この取り組みは3回目で、実際にバスに乗りながら利用方法や経路を体験します。

今回のコースは、阿万農協前から「すいせん号」に乗車し、陸の港西淡で「らんちゃん号」に乗り換えて市役所へ向かいました。市役所では議会室の見学や庁舎案内を受け、その後は小型電気バス「ゆめるん号」でイングランドの丘へ移動。美菜恋来屋では買い物や昼食も楽しみました。



参加者からは、「免許返納前に利用方法を知っておくことが大切」「実際に乗ってみると経路や乗り方が分かり安心できる」といった声がありました。また、行き先ごとの乗降場所が分かる案内や、初めての人をサポートしてくれる体制があれば、より利用しやすくなるのではないかという意見も出ました。

今回の試乗会はバスの使い方を学ぶだけでなく、外出のきっかけづくりや参加者同士の交流の場としても大きな役割を果たしていました。

らんらんバス

高齢者向け
支援制度

65歳以上で運転免許を自主返納された方は、「1年フリーパス券」をプレゼント。
75歳以上の方は、後期高齢者医療被保険者証の提示で運賃半額などがあります。
手続き・お問い合わせは、南あわじ市市民協働課(43-5244)まで。

★ふれあい・いきいきサロン活動のご相談は、生活支援コーディネーターへ★
南あわじ市社会福祉協議会 ☎ 0799-44-3007

